



今月のトピックス

津島学び講座 「昭和初期の地元新聞を読む」

～郷土のよもやま話と記者の嘆き～

昭和初期、津島町には多くの地元新聞社がありました。今回、数ある新聞の中から時局に翻弄されながらも郷土を愛し続けた『東海魁新聞』を読みます。地元新聞が描写する当時のさまざまな話題や、記者のつぶやきなども紹介します。

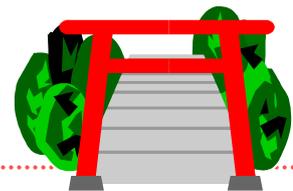
日時 2月16日(日) / 午前10時より
講師 園田俊介氏(津島市立図書館副館長)
場所 津島市立図書館 2階大集会室
定員 なし(申し込みは不要です)



「『津島の昔』など懐かしい風景展～小谷精鋭・切り絵展～」

津島神社前にオートバイがずらりと並んだ祝賀会、毛織工場の複雑な機械など、懐かしい津島の風景を切り紙で表現した作品を多数展示しています。何層にも紙を貼り合わせて表現する切り絵の作品に加え、その作業工程を写真や見本をはさんで説明してあります。今回は新たな展示内容に入れ替えた第二期となりますので是非ご覧ください。

場所 図書館1階展示スペース
期間 1月31日(金)～2月27日(木) 第2期



受験に臨む前に。

進学、就職へ向けていよいよ受験のラストスパートです。今まで勉強してきたことが十分発揮できるように、最後は万全な防寒対策と体調管理で試験に臨みましょう。

『冷えとり薬膳レシピ』 新開ミヤ子/著 筑摩書房 498.5シ

『風邪とごはん』 渡辺有子/著 筑摩書房 493.3ワ

『食べてポカポカおいしいあっためレシピ』 牧野直子/監修 講談社 596タ

『かぜとインフルエンザ 知って防ごう』 岡部信彦/著 少年写真新聞社 493.8オ

『受験本番に強くなる本』 和田秀樹/著 辰巳出版 B376.8ワ

新 着 図 書

『47都道府県の純喫茶』

山之内遼 / 著 実業之日本社 596.7/ヤ



「純喫茶」という言葉はほとんど聞かなくなりましたが、その頃から営業してきたお店はまだ全国にたくさん残っているようです。

風格があり落ち着いた佇まいの店内はコーヒーの良い香り。常連の方が楽しそうにお喋りをしていれば、その傍らでは一人静かに新聞を読んでいるといった日常の光景がうかびます。そんなくつろぎの空間を提供してくれるのが喫茶店ではないでしょうか。

この図書ではお店の紹介に加え、知られざるエピソードやメニューを紹介した内容になっており、読書後は近所の喫茶店へちょっとコーヒーでも飲みに行こうかなあと考えてくる一冊になっています。

ベストリーダー

先月の利用の多かった本をご紹介します

- 『シルバー川柳』 3 全国有料老人ホーム協会/編 身近な話題を川柳で面白おかしく大好評の第三弾。
- 『食べ歩き名古屋で世界旅行』 水谷洋子/編著 異国の料理を名古屋周辺でおいしく味わいましょう。
- 『スーパー図解関節リウマチ』 林泰史/監修 関節リウマチの診断基準や適切な治療法を詳しく紹介。
- 『灰と話す男』 佐藤青南/著 女性消防士高柳蘭の第二弾。ある事件を発端に蘭の周りで異変が起こる。
- 『完本寺内貫太郎一家』 向田邦子/著 未完のままで終わっていた原作をドラマ用の脚本をもとに完結。
- 『あの名店から定食屋まで！ヒミツの味つけ手帖』 主婦の友社/編 有名店の味がお家で再現できる。
- 『独走』 堂場瞬一/著 柔道の金メダリスト沢居弘人にスポーツ省から課せられたある命令とは。
- 『日本の起源』 東島誠/著 日本が現代の様な世相に至るまでを歴史学の観点から全六章で論ずる。
- 『免疫のしくみと難病治療への期待』 雑誌ニュートンの別冊本。免疫と病気の関係性を仕組みから解説。
- 『だから荒野』 桐野夏生/著 毎日新聞の連載を加筆修正。主婦の朋美が誕生日を機にある決断をする。

図書館のホームページをご利用ください

本の検索や、行事などの予定、図書館員のコラム（「図書館だより」）など、ほぼ毎日更新しています。検索メニューが豊富になり、より便利になりました！ キーワードは「津島市立図書館」。

<http://www.lib.tsushima.aichi.jp/toshokan/>

休館日

25日(火)(毎月第4火曜日)

津島市立図書館

〒496-0854 津島市老松町1-1

電話(0567)25-2145

